

ビデオウォールコントローラ

DXN6000 シリーズ

<クイックスタートガイド>

取扱説明書 Ver.1.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。
<http://www.arvanics.com>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、クイックスタートガイドおよびコマンドガイドについては、弊社ホームページからのダウンロード提供のみになります。

■ユーザーズガイド

[目的]

- ・ 設置し、周辺機器と接続をする。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■クイックスタートガイド (本書)

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。

■コマンドガイド

[目的]

- ・ シリアル通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。



安全上のご注意







製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注 意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁 止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指 示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く

警告

■重い製品を持ち上げるときは



指 示

●持ち上げるときは2名以上で作業する



製品を持ち上げる時、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に降ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

一人での持ち上げは負傷を招く原因となります。







警告


■設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 指示	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後に、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p>

■お使いのときは

 禁止	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプタは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプタが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 分解禁止	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 接触禁止	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 指示	<p>●電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>




■もしものときは

 プラグを抜く	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
--	--





注意

■設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●埃・油煙・湿気の多い場所に置かない 埃の多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける (ラックへ設置できる製品の場合) EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない (ゴム足付き製品の場合) ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

■お使いのときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプタ以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプタは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプタをコンセントから抜く 感電の原因になります。

目次

1. 各部の名称とはたらき	7
1.1. フロントパネル.....	7
1.2. リアパネル.....	8
2. 基本設定・操作方法	9
2.1. ログイン手順.....	9
2.2. 言語設定.....	10
2.3. コントロール画面の説明.....	11
2.4. DXWall ビュー.....	12
2.5. ビデオウォールの操作方法.....	13
2.6. 音声入出力の操作方法.....	15
2.7. シナリオ操作.....	16
2.8. コマンドライン.....	18
3. DXWEBCONTROL	20
3.1. ログイン手順.....	20
3.2. Web コントロール画面の説明.....	21
3.3. ビデオウォールの操作方法.....	23
3.4. プロパティ設定 (Property settings).....	27
3.4.1. 配置.....	27
3.4.2. トリミング.....	27
3.4.3. カラー (Universal 入力のみ).....	28
3.4.4. 挿入 (Universal 入力のみ).....	28
3.4.5. OSD.....	29
3.4.6. 情報.....	30
3.5. 音声入出力マトリクス of 操作方法.....	31
3.6. 情報 (Hardware Monitor Info).....	32
3.7. シナリオ操作.....	33
3.7.1. DXWebScenario User Interface.....	33
3.7.2. シナリオファイルの編集と操作.....	34

1. 各部の名称とはたらき

1.1. フロントパネル



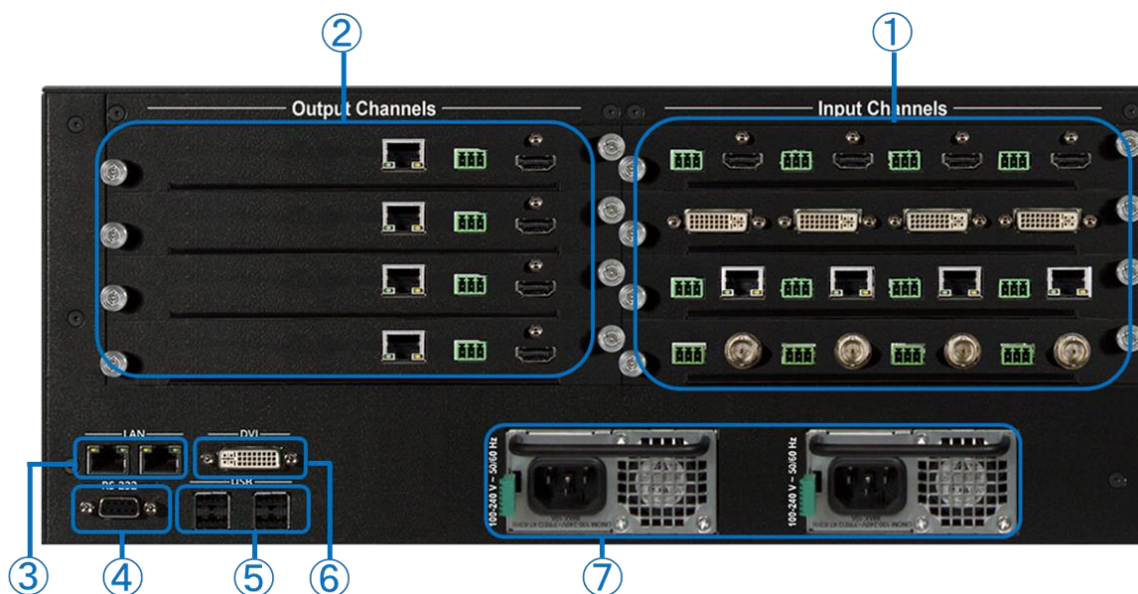
フロントパネル

※モデルによって外観が異なる場合があります。

フロントパネルの各名称とはたらき

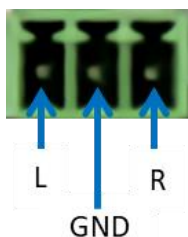
番号	名称	説明
①	パワーボタン	本機の電源を ON します。起動時に押すと本機がシャットダウンします。
②	ステータス LED	本機の電源、センサーの状態を表示します。
③	DVD ドライブ	本機に DXWall ソフトウェア・パッケージをインストールする際に使用します。
④	SSD	本機の SSD (HDD) を搭載するドライブベイです。RAID (オプション) を構築している場合は、複数のドライブが搭載されます。

1.2. リアパネル



リアパネル

※モデルおよびボード構成によって外観が異なる場合があります。




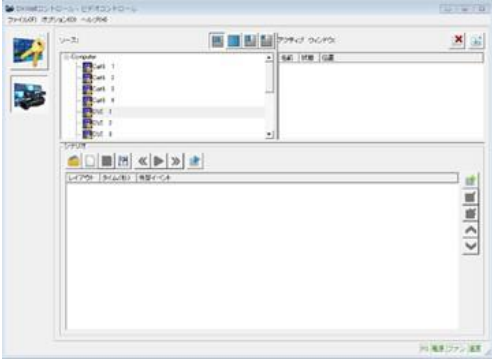
リアパネル - アナログオーディオ端子

リアパネルの各名称とはたらき

番号	名称	説明
①	入力ボード / コネクタ	映像信号の入力コネクタです。ソース機器と接続します。コネクタ形状はボード構成に依存します。
②	出力ボード / コネクタ	映像信号の出力コネクタです。液晶モニター、プロジェクターなどのシンク機器と接続します。コネクタ形状はボード構成に依存します。
③	LAN コネクタ (1, 2)	LAN 通信コネクタです。通信コマンドまたは WEB ブラウザによる外部制御をするときに使用します。
④	RS-232C コネクタ	通信コマンドによる外部制御で使用します。
⑤	USB コネクタ	USB キーボード、マウスの接続に使用します。
⑥	ローカル DVI コネクタ	DVI 信号のローカル出力コネクタです。ローカルコンソール用モニターと接続します。
⑦	電源ユニット (230V)	付属の電源コードを接続します。

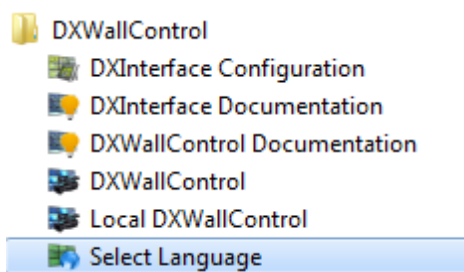
2. 基本設定・操作方法

2.1. ログイン手順

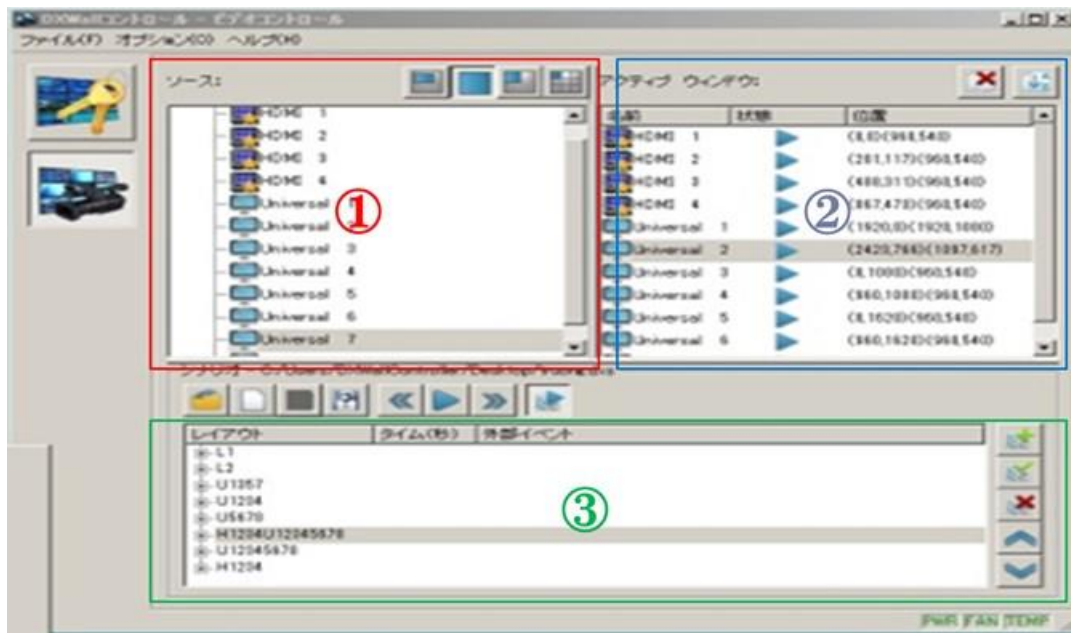
<p>ステップ1. DVI のローカルモニタ及び表示器を接続した後、フロントパネルの電源ボタンを押して電源を投入してください。</p>	
<p>ステップ2. 起動後、ローカルモニタに Windows のデスクトップ画面が表示されます。 Windows スタートメニュー → すべてのプログラム → DXWallControl → Local DXWallControl を選択します。</p> <p>※ 「Local DXWallControl」は Administrator で起動します。Local が付いていない「DXWallControl」は、起動時にユーザーパスワードの入力を求められます。</p>	
<p>ステップ3. DXWall コントロール画面が表示されます。</p>	

2.2. 言語設定

初めてログインした場合、コントロール画面は英語表示になっています。Windows のスタートメニューを開き、すべてのプログラム → DXWallControl → Select Language を選択すると、表示言語の設定ダイアログが表示されます。ドロップダウンから「Japanese」を選択し、OK ボタンを押すことで、コントロール画面の表示言語を日本語に変更できます。



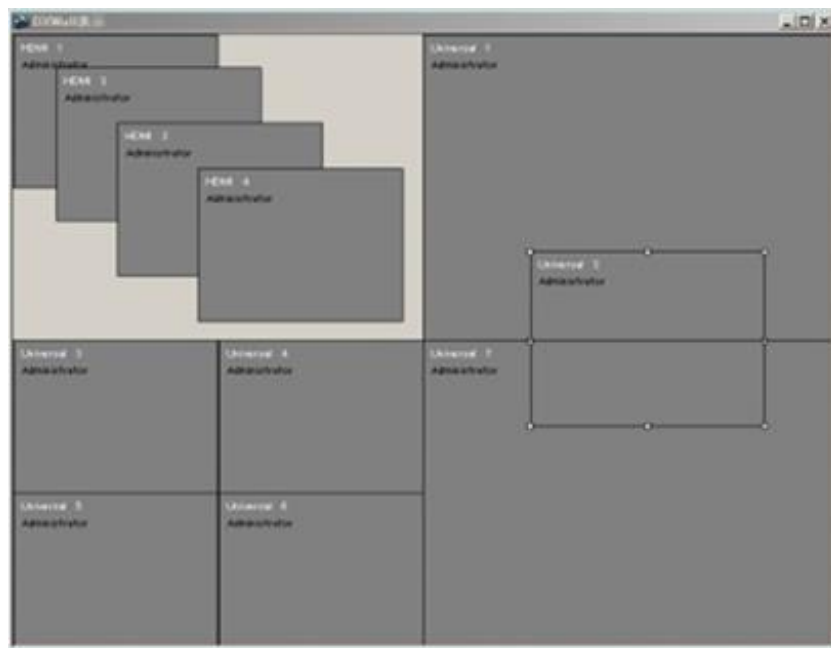
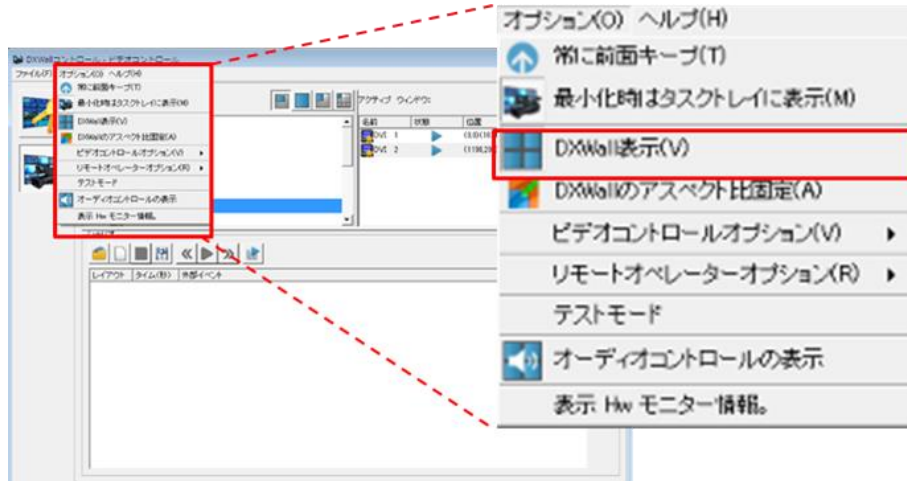
2.3. コントロール画面の説明



① ソースエリア	入力チャンネルを表示します。 出力させたい入力信号を選択します。
② アクティブウィンドウ エリア	ウォール画面に表示されているビデオウィンドウの情報が表示されます。
③ シナリオエリア	作成したシナリオ（プリセットレイアウト）が表示されます。

2.4. DXWall ビュー

コントロール画面の上部にあるメニューバーから、「オプション」→「DXWall 表示」を選択することで、ウォール画面の縮小表示ウィンドウが表示できます。このウィンドウは、ウォールに表示中のビデオウィンドウの確認や配置の変更をすることが可能です。



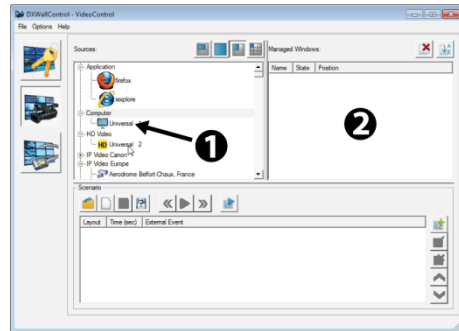
2.5. ビデオウォールの操作方法

ステップ1.

ソースエリアから表示したい入力信号を選択します。

任意の入力チャンネル (1) をダブルクリックすると、ウォール上にビデオウィンドウをデフォルトのサイズと位置で表示します。また、以下の2つの操作方法でも表示が可能です。

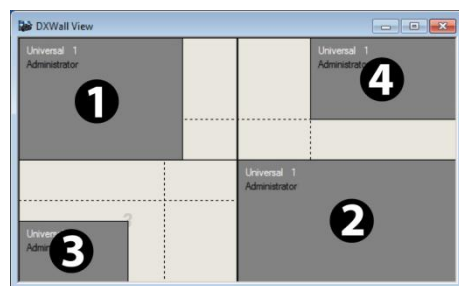
- 入力チャンネルをアクティブウィンドウエリア (2) にドラッグアンドドロップする。
- 入力チャンネルを DXWall ビュー上のスクリーンにドラッグアンドドロップする。

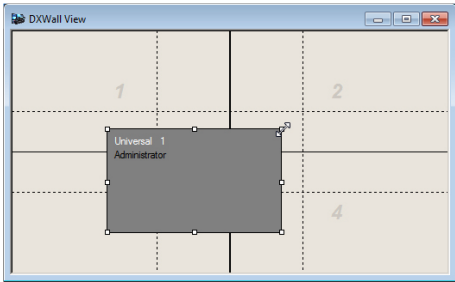
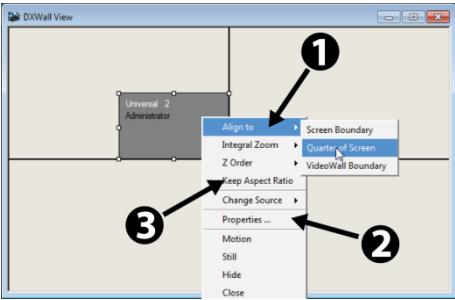
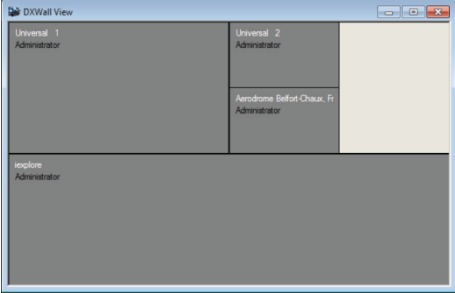


ステップ2.


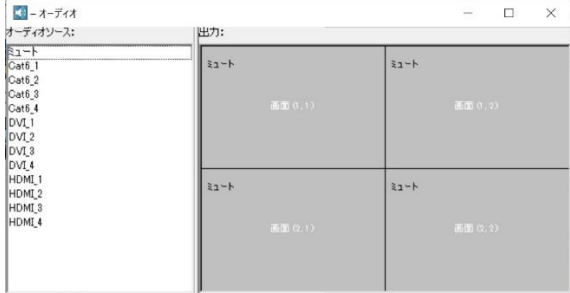
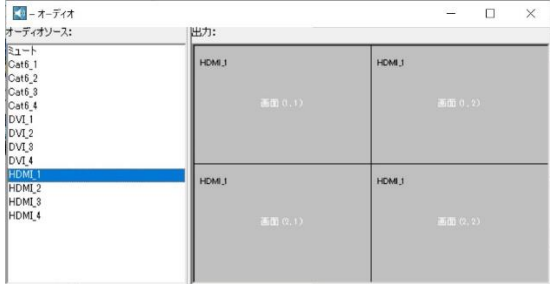
ドラッグアンドドロップモードを使用する場合、ソースエリアにあるボタンを使って配置されるウィンドウの既定のサイズを変更できます。

- (1) デフォルトサイズモード
ウィンドウをデフォルトサイズで表示します。
- (2) スクリーンサイズモード
ウィンドウをドロップ先のスクリーンサイズで表示します。
- (3) 4分の1サイズモード
ウィンドウをドロップ先スクリーンの1/4のサイズで表示します。
- (4) グリッドモード
ウィンドウを設定したグリッド線に合わせて表示します。グリッド線はメニューバーの「オプション」 - 「ビデオコントロールオプション」 - 「グリッド」 (Grid)から設定できます。
- (5) 「すべて閉じる」ボタン
ウォール上に表示しているウィンドウをすべて閉じることができます。
- (6) 「並べ替え」ボタン
オンにすると、表示しているウィンドウを名前順に並び替えることができます。



<p>ステップ3. DXWall ビューパネル上にある灰色の長方形をクリックすることで、ウィンドウがアクティブになります。またコーナー近くにある白い四角形をドラッグして動かすことで、ウィンドウのサイズを変更することが可能です。</p>	
<p>ステップ4. DXWall ビュー上のビデオウィンドウを手動でドラッグして、任意の場所に配置できます。正確にサイズ変更したい場合には、マウスの右クリックで長方形を選択して、「配置」メニュー (1) のアイテムを選択してください。右クリックメニューの「プロパティ」 (2) では、ウィンドウのサイズや位置を数値指定で調整することが可能です。</p> <p>「アスペクト比の保持」 (3) を有効にすると、入力信号のオリジナルのアスペクト比を保持することができます。</p>	
<p>ステップ5. ウォールには複数のウィンドウを表示することができます。右の例では、Internet Explorer、PC、HD ビデオ (Universal 入力)、IP ビデオカメラが表示されています。</p>	

2.6. 音声入出力の操作方法

<p>ステップ1 DXWallControl ウィンドウのメニューバーから「オプション」 → 「オーディオコントロールの表示」を選択します。 本項目は本機に音声対応の入力ボードが1枚以上搭載されている場合にのみ選択可能になります。</p>	
<p>ステップ2 オーディオコントロールウィンドウが表示されます。ウィンドウの左側に、音声入力チャンネルとミュート（音声出力オフ）の一覧が表示されています。ウィンドウの右側には、ビデオウォールのレイアウトが表示されています。 各スクリーンの左上に表示されている文字が、現在そのスクリーンに割り当てられている入力信号になります。「Mute」表示は、音声出力がされていない状態を示しています。</p>	
<p>ステップ3 音声を割り当てる場合は、ウィンドウ左側の一覧から入力チャンネルをドラッグし、ウィンドウ右側の音声出力させたいスクリーンにドロップします。</p>	
<p>入力チャンネルをダブルクリックで選択すると、その入力音声をすべての出力チャンネルに割り当てることができます。</p>	

2.7. シナリオ操作

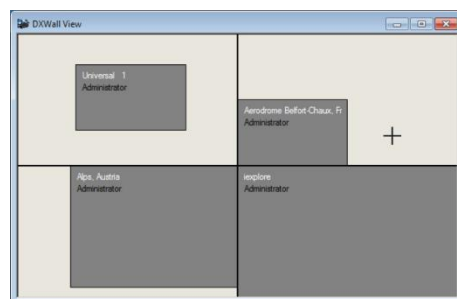
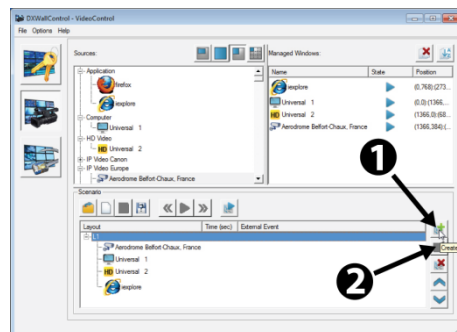
ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、複数のレイアウトを簡単に切り換えることができます。

ステップ1.

ウォール上にウィンドウを配置します。「ステップ新規作成」ボタン (1) をクリックすると、シナリオステップが作成され、現在のウィンドウレイアウトが保存されます。

タイトルをクリックすることで、新しい名前を付けることが可能です。

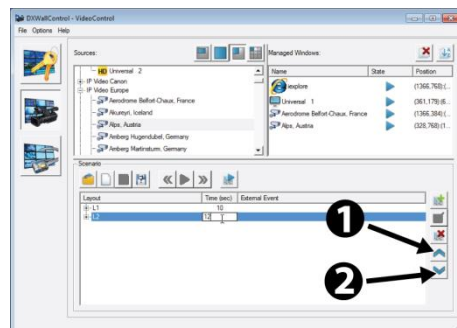
ウォール上のレイアウトを変更しても、作成済みのシナリオは変更されません。「ステップ修正」ボタン(2) を押すことで、現在のウォール上のレイアウトがシナリオに上書き保存されます。



ステップ2.

シナリオエリアにある作成したステップをクリックすることで、ウォール上にレイアウトが表示されます。

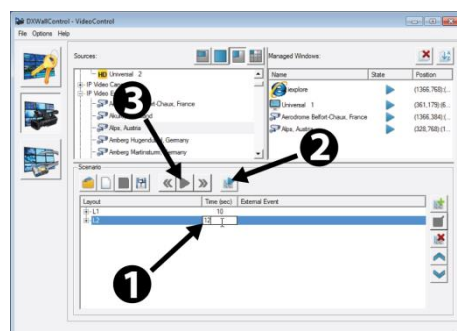
シナリオ内のステップの並びを変更することができます。移動させたいシナリオのステップを選択して、「上へ移動」ボタン (1) をクリックすると、そのステップをシナリオ内で1つ上に移動します。「下へ移動」ボタン (2) をクリックすると、そのステップをシナリオ内で1つ下に移動します。



ステップ3.

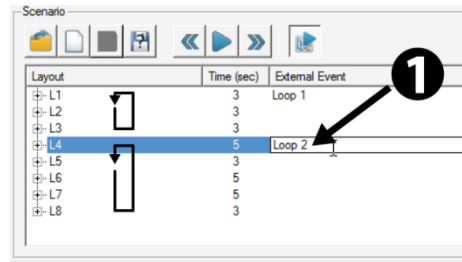
シナリオステップを、設定した時間ごとに順番に表示させることが可能です。各ステップの「タイム(秒)」(1) に、各レイアウトの表示時間を入力し、Enter キーを押します。

「シナリオの実行」ボタン (2) と「自動再生」ボタン (3) を押すことでループ再生が開始されます。選択されたレイアウトを表示し、指定された時間が経過すると次のレイアウトに進みます。最後のステップを表示した後は、最初のステップに戻ります。

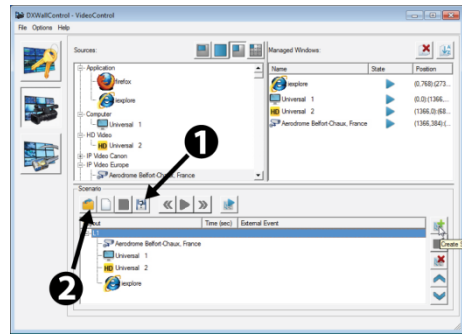


ステップ4.

「外部イベント」を使用することで、内部ループを定義することができます。外部イベントを設定したレイアウトは、内部ループの最初のレイアウトとみなされます。次の外部イベントが定義されたレイアウトの直前にあるレイアウトまで再生し、その後は最初のループヘッダに戻ります。自動再生は手動で停止することができます。

**ステップ5.**

作成したシナリオは、シナリオエリア上部にある「名前を付けて保存」ボタン (1) でエクスポートが可能です。保存済みのシナリオファイルを開く場合は、「シナリオを開く」ボタン (2) を押します。



2.8. コマンドライン

DXWallControl プログラムは、プログラムを閉じる時に以下の状態を記憶し、次回起動時にこれらの状態を復元します。

- ウィンドウの配置
- ログイン情報
- メニューオプションの状態

コマンドライン引数を用いることで、DXWallControl の開始手順を自動化できます。引数に「help」を指定することで、利用可能なオプションを表示できます。

ローカルでの使用：

```
DXWallControl [-l] [-ls <fname>] [-es]]
```

- l : ローカルでの使用
- ls <fname> : シナリオファイル <fname> の読み込み
- es : シナリオの実行

シナリオの自動開始：

```
DXWallControl [-s <ws>] [-p <port>] [-u <name>] [-pw <pwd>] [-c [-st vc] [-ls <fname>] [-es]]]
```

- s <ws> : サーバ <ws> の指定
- p <port> : ポート <port> の指定
- u <name> : ユーザー名 <name> の指定
- pw <pwd> : パスワード <pwd> の指定
- c : 自動接続
- st vc : ビデオコントロールモードの開始
- ls <fname> : シナリオファイル <fname> の読み込み
- es : シナリオの実行

映像出力の自動開始：


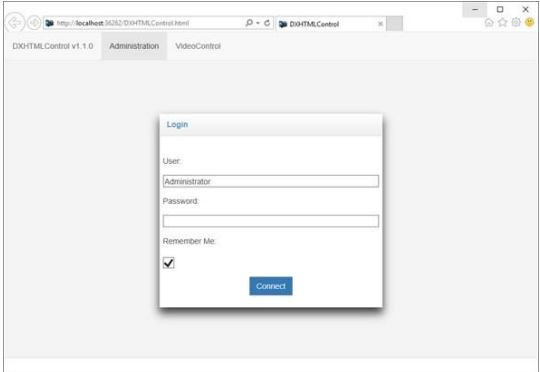
```
DXWallControl [-s <ws>] [-p <port>] [-u <name>] [-pw <pwd>]
[-c [-st vc]
[{-v | -fg | -rgb | -tmds} <input> [-still] [-tm]
[-pos <l> <t> <w> <h>] [-aspect] [-f]
[-crop <left> <top> <right> <bottom>]
[-brightness <b>] [-contrast <c>]
[-hue <h>] [-saturation <s>] [-hidden]]]
```

- s <ws> : サーバ <ws> の指定
- p <port> : ポート <port> の指定
- u <name> : ユーザー名 <name> の指定
- pw <pwd> : パスワード <pwd> の指定
- c : 自動接続
- st vc : ビデオコントロールモードの開始
- v <input> : 入力ビデオ映像<input> の表示開始
- fg <input> : 入力キャプチャ映像<input> の表示開始
- rgb <input> : 入力 RGB 映像<input> の表示開始
- tmds <input> : 入力 TMDS 映像<input> の表示開始

- still: フリーズ映像の表示
- tm: ビデオウィンドウを一番上に表示
- pos <lx> <ly> <w> <h>: 映像の左上座標とサイズの指定
- aspect: アスペクト比の保持
- f: フレームを描画
- crop <left> <top> <right> <bottom>: 切り抜きのパラメータ
- brightness : 輝度 [-128, 127] の指定
- contrast <c>: コントラスト [0, 1023] の指定
- hue <h>: 色相 [-128, 127] の指定
- saturation <s>: 彩度 [0, 511] の指定
- hidden: ヒドゥンモード。DXWallControl のウィンドウを非表示にします。
映像ウィンドウが閉じられると、DXWallControl のプロセスが自動的に終了します。

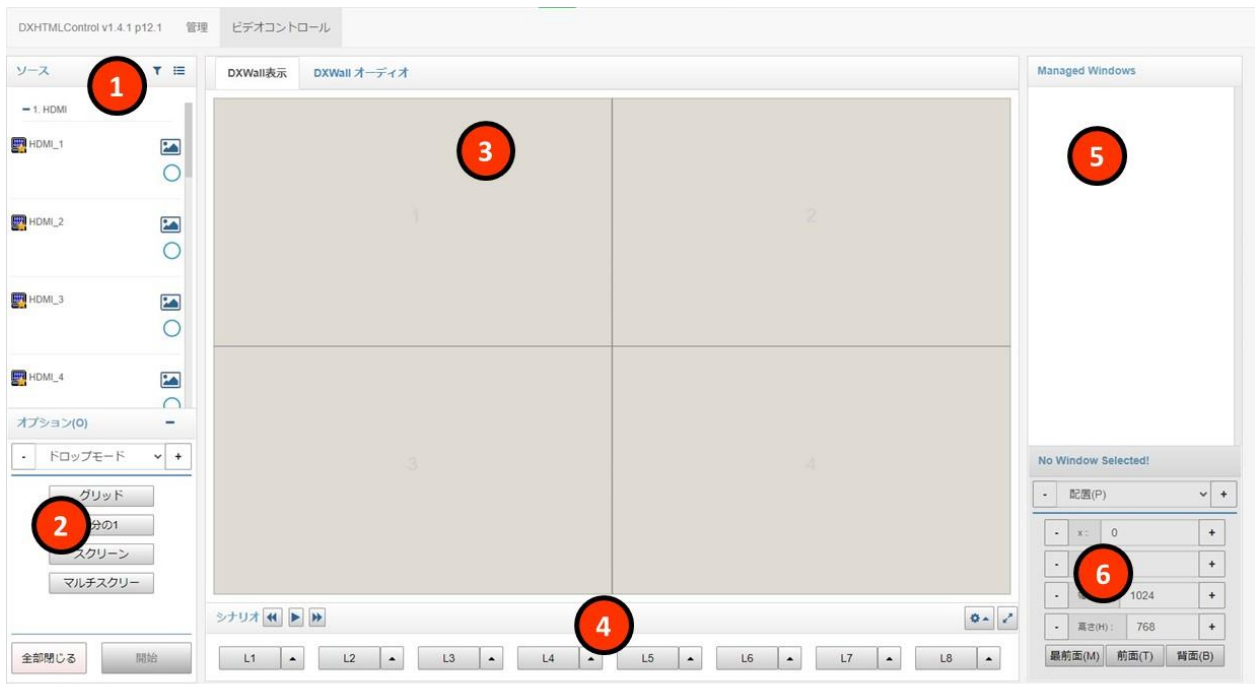
3. DXWebControl

3.1. ログイン手順

<p>ステップ1 本体背面の LAN ポートとネットワークスイッチ、または PC と LAN ケーブルで接続します。その後、フロントパネルの電源を投入してください。</p>	 The image shows the front panel of the DXN6000 Video Wall Controller. It is a black, rack-mountable device. On the left side, there is a power button and a power indicator light. In the center, there are several ports, including LAN ports. On the right side, there are two large blue display screens. The text "DEXON Systems" and "DXN6000 Video Wall Controller" is printed on the front panel.
<p>ステップ2 本機のデフォルト IP アドレスは DHCP 自動取得になっています。変更が必要な場合は、Windows のネットワーク設定にて IP アドレスを設定してください。</p>	
<p>ステップ3 PC のウェブブラウザを開き、アドレスバーに本機の IP アドレスを入力します。ログイン画面が表示されます。 事前に DXWallConfig で設定したユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトの設定では、パスワードなしで Administrator のログインが可能です。</p>	 The image is a screenshot of a web browser window showing the login page for the DXWebControl interface. The browser's address bar shows "http://localhost:5032/DXHTMLControl.html". The page title is "DXHTMLControl v1.1.0". The main content area displays a "Login" dialog box with the following fields: "User" (containing "Administrator"), "Password", and "Remember Me" (checked). A "Connect" button is located at the bottom right of the dialog box.

3.2. Web コントロール画面の説明

本機にログインすると、以下のコントロール画面が表示されます。



① ソースエリア	入力チャンネルを表示します。 出力させたい入力信号を選択します。
② オプションエリア	ドロップモードの変更、グリッドラインの設定、DXWall ビューのアスペクト比の設定を行います。本機のハードウェア情報もここで確認できます。 また、「すべてを閉じる」ボタンを利用することで、すべてのウィンドウを閉じたり、「開始」ボタンを利用して DXWall ビュー上で行った変更を表示器に反映させたりすることが可能です。 オプション内の「デザイナーモード」が無効の場合は、DXWall ビュー上で行った変更は直ちに反映されます。
③ DXWall ビュー	表示したビデオウィンドウを出力チャンネル間の目地をまたいで移動させることが可能です。DXWall ビュー上でビデオウィンドウを表す四角形をドラッグし、配置したい場所にドロップしてください。
④ レイアウトボタン シナリオ再生・手動切換	ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、ボタン操作一つで簡単に呼び出すことが可能です。 また、保存したレイアウトは、表示時間を設定して自動で切り換えること(シナリオ再生)が可能です。
⑤ ウィンドウ管理	表示中のビデオウィンドウの配置とサイズを一覧表示します。

⑥ ウィンドウプロパティ	<p>ビデオウィンドウのパラメータの設定変更が可能です。以下の設定項目がこのエリアに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">● 配置● トリミング● カラー (Universal 入力のみ)● 挿入 (Universal 入力のみ)● OSD● 情報
--------------	--

3.3. ビデオウォールの操作方法

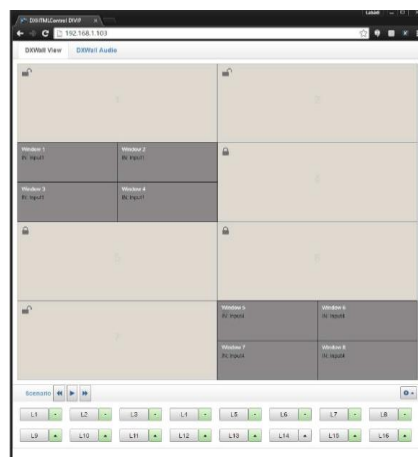
<p>ステップ1. 入力信号をスクリーン内に配置する場合は、以下の手順で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入力エリアにて、表示したい入力信号の右側にある○を選択します。 鍵マークがついている入力信号は、HDCP が付加されています。 2. 入力信号を選択後、DXWall ビュー上の任意の場所をクリックします。DXWall ビュー内にビデオウィンドウが配置されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力チャンネルをドラッグして、DXWall ビュー上の任意の場所にドロップすることでビデオウィンドウを配置することも可能です。これをドラッグアンドドロップモードと呼びます。 	
<p>ステップ2. ドラッグアンドドロップモードを使用する場合、配置されるウィンドウの既定のサイズを変更できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オプションエリアから「ウィンドウ作成」を選択します。 2. グリッドサイズ、4分の1サイズ、画面サイズ、全画面サイズから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● デフォルトサイズモード(Default Size Mode) : ボタンを選択しない場合、ウィンドウはデフォルトサイズで表示されます。 ● グリッドサイズ : 選択されたグリッドによって定められるエリアに合わせて表示されます。 	  <p style="text-align: center;"><u>グリッドサイズ</u></p>

4分の1サイズ：
選択されたスクリーンの1/4のサイズで表示され
ます。

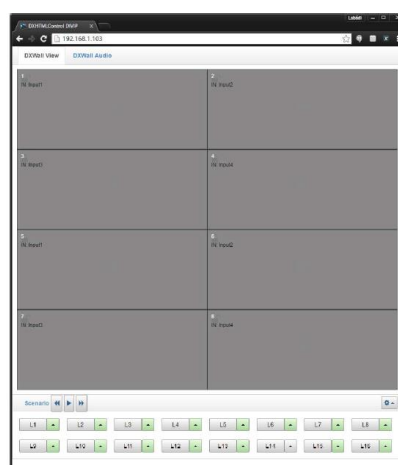
- 画面サイズ：
ドロップ先のスクリーンサイズで表示され
ます。

- 全画面サイズ：
ビデオウォール全体のサイズで表示され
ます。

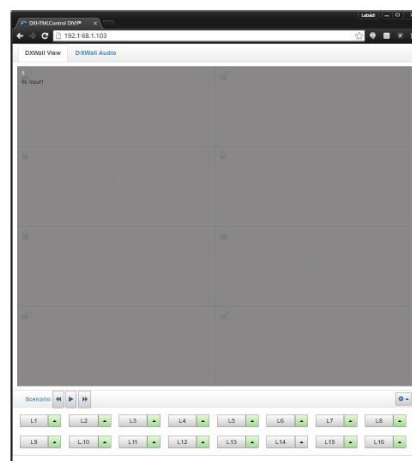
「すべてを閉じる」を押すことで、開いているビ
デオウィンドウをすべて閉じることができます。



4分の1サイズ

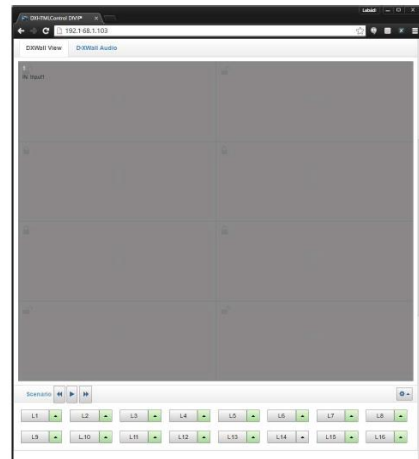


画面サイズ



全画面サイズ

- 全画面サイズ：
ビデオウォール全体のサイズで表示されます。

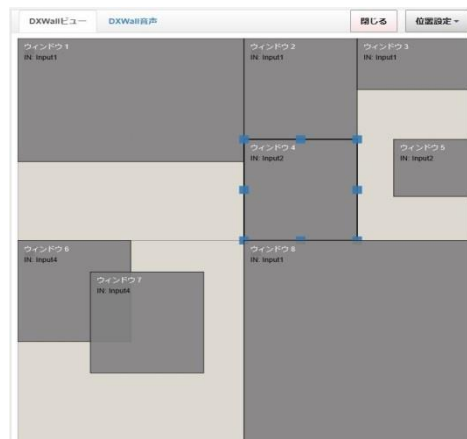


全画面サイズ

「すべてを閉じる」を押すことで、開いているビデオウィンドウをすべて閉じることができます。

ステップ3.

DXWall ビュー上の濃い灰色の長方形をクリックすることで、ウィンドウがアクティブになります。またコーナー近くにある青い四角形をドラッグして動かすことで、ウィンドウのサイズを変更することが可能です。



ステップ4.

DXWall ビュー上の入力ウィンドウをドラッグすることで、各入力ウィンドウを希望の配置に移動できます。


正確にサイズ変更したい場合には、DXWall ビュー上のウィンドウをクリックすると、DXWall ビューの右上にウィンドウ操作メニューが表示されます。


「閉じる」をクリックすると、選択されたウィンドウが削除されます。

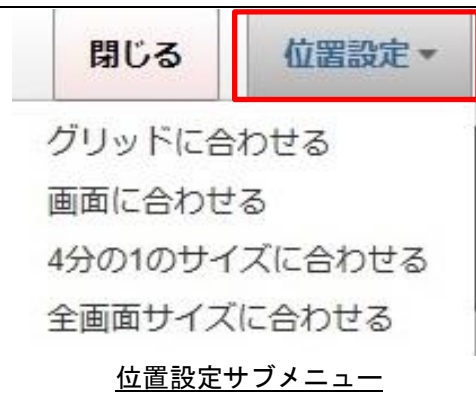


ウィンドウ操作メニュー

「位置設定」のドロップダウンから選択したウィンドウのサイズが変更できます。

また、ウィンドウが選択されている状態で、 アイコンのドロップダウンから「アスペクト比固定」を選択すると、ウィンドウのアスペクト比が保持されます。

重なり合うビデオウィンドウの順序を変更する場合は、ウィンドウが選択されている状態で、 アイコンのドロップダウンから「Z 順序」を選択します。前面に移動する場合は「全面」、背面に移動する場合は「背面」を選択します。「最前面」を選択すると、開いているすべてのウィンドウの一番上にウィンドウを配置します。



3.4. プロパティ設定 (Property settings)

ウォール上に表示されるビデオウィンドウの外観は、コントロール画面右下のプロパティエリアにて設定できます。表示される設定項目について、以下で説明します。

3.4.1. 配置

ビデオウィンドウを配置する位置を設定できます。

プロパティ - Universal_1

- 配置(P) ▼ +

- x: 0 +

- y: 1200 +

- 幅(W): 1920 +

- 高さ(H): 1200 +

最前面(M) 前面(T) 背面(B)

- **左/上/幅/高さ**
ビデオウィンドウの位置とサイズを数値で指定することが可能です。
- **上/下ボタン**
ビデオウィンドウのZ順序(上部・下部)を設定できます。上を押すと前面に、下を押すと背面にウィンドウが移動します。

3.4.2. トリミング

プロパティ - Universal_1

- トリミング(R) ▼ +

- 左(L): 0 +

- 上(T): 0 +

- 右(H): 1023 +

- 下(B): 767 +

既定値に戻す(D)

ウィンドウ上に表示する入力信号の一部を切り出して表示することができます。切り出しは、左、上、幅、高さの数値を指定することで行うことができます。「Reset」ボタンを押すと、デフォルト値に戻ります。

3.4.3. カラー (Universal 入力のみ)

Universal 入力チャンネルでは、ビデオ映像の明るさおよびコントラストの調整が可能です。「既定値に戻す」ボタンを押すとリセットされます。



3.4.4. 挿入 (Universal 入力のみ)

ビデオ入力の表示を円滑にするために、各ビデオ領域には1つのキーカラーが割り当てられています。本機のカラーキー処理は自動的に行われるため、ユーザーがこれらの設定を変更することはできません。何らかの理由でカラーキー処理を変更する必要がある場合は、「Color Key」ボタンから変更が可能です。ボタンを押すと、カラー選択ダイアログが表示され、新しいキーカラーを選択します。選択したソリッドカラーにより、挿入されたビデオ映像が可視化されます。それ以外の色のグラフィックオブジェクトは、ビデオ映像の上に重なって表示されます。



3.4.5.OSD

選択したウィンドウ上に OSD を設定することができます。



「編集」ボタンを押すことで、各種設定値を変更できます。



リストには定義済みのテキストが表示されます。ここでテキストのフォーマット（フォント、ボールド、イタリック、サイズ、背景、色など）を確認できます。

新しいテキストを追加するには、[+] ボタンをクリックします。空のテキストが既定値でリストに追加されます。テキストを削除する場合は、テキストを選択して [-] ボタンをクリックします。

[^][v] ボタンを押すことで、テキストの並びを変更することができます。

プロパティ

選択されたテキストのパラメータ（フォント、表示位置、サイズ、カラー等）を確認、変更することができます。フォントの種類は、「フォント」コンボボックスから選択できます。「ウィンドウ座標」を無効にすると、テキストサイズがウィンドウのサイズ変更に合わせて拡大縮小されるようになります。

3.4.6. 情報

選択したビデオウィンドウの入力信号の情報を確認することができます。

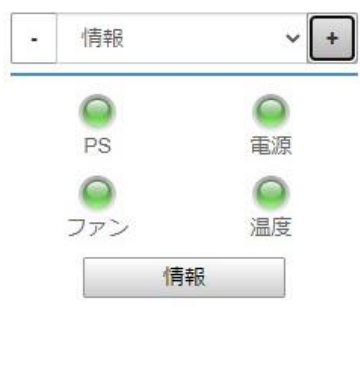


3.5. 音声入出力マトリクス操作方法

<p>ステップ4 DXWall ビューエリアにある「DXWall 音声」タブを選択します。デフォルトでは、音声入出力のマトリクス画面はグリッドモードで表示されています。</p> <p>※ 画面上部にある「グリッドサイズ」のチェックを外すことで、アサインメント画面の表示を切り換えることが可能です。</p>	
<p>ステップ5 入力チャンネルと出力チャンネルが交差するボタンをクリックします。ボタンが緑色で表示され、選択した入力信号の音声が出力されます。</p>	
<p>※ 選択したボタンが青色で表示されている場合は、待機中の状態で、まだ音声は出力されていません。この状態から「開始」ボタンを押すと、音声が出力されます。</p>	
<p>※ 自動的に反映させる場合は、画面下部にある「オートスタート」にチェックを入れてください。</p>	
<p>ステップ6 緑色のボタンをもう一度クリックすると、音声出力が停止します。「全部閉じる」ボタンを押すことで出力中の全ての音声を停止できます。</p>	

3.6. 情報 (Hardware Monitor Info)

コントロール画面左下のオプションエリアにて、本機に関する特別な情報（ハードウェアセンサー、温度など）を確認できます。



- PS - 電源ユニットの状態
- PWR - 電源測定センサーから受信したデータの状態
- FAN - 内部ファンの状態
- TEMP - 温度センサーから受信したデータの状態

センサーが正常な変数を測定している場合、緑色のランプが表示されます。1つもしくは複数の変数が適正な領域を超える場合、赤色のランプが表示されます。

「情報」ボタンを押すことで、ハードウェアモニタの詳細情報が別ウィンドウで表示されます。

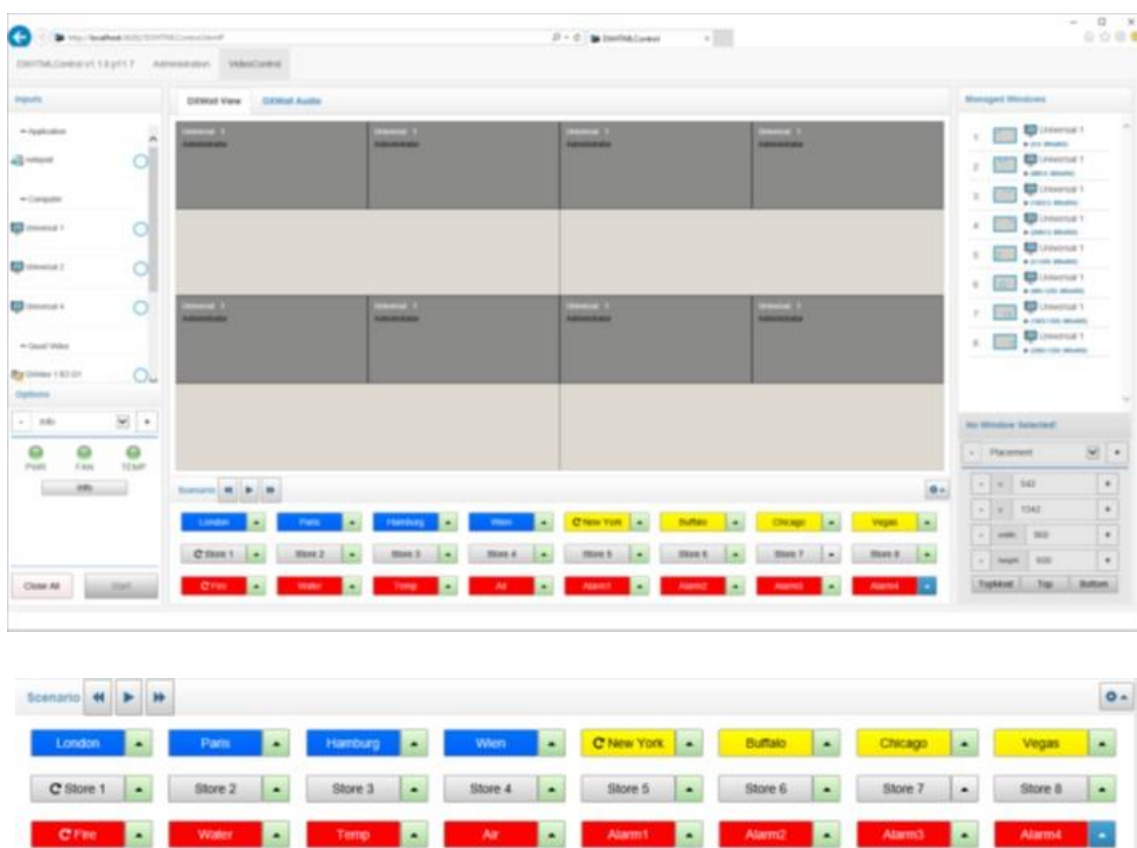


3.7. シナリオ操作

ビデオウィンドウのレイアウトを保存し、簡単に切り換えることができます。DXWebControl は、DXWall サーバとの間でシナリオのインポートおよびエクスポートが可能のため、ネットワーク上のどこでも保存されたシナリオにアクセスすることができます。


3.7.1.DXWebScenario User Interface

DXWebControl 画面から、シナリオの表示、作成が可能です。




既存のシナリオを開始する場合は、シナリオパネル右上の設定ボタンから「シナリオを開く」を選択してシナリオファイルを選択してください。シナリオファイルの拡張子は.dxs です。シナリオは、シナリオパネル上のレイアウトボタンによって構成されます。選択したシナリオのレイアウトを表示するには、レイアウトボタンをクリックしてください。シナリオは、同じボタンを再度押すことで停止できます。シナリオは一度に一つのみ実行できます。

3.7.2.シナリオファイルの編集と操作

シナリオエリアにある設定ボタンを利用することにより、新しいシナリオの作成や保存ができます。



- **新規ステップ作成**

新しいステップを作成するには、保存したいレイアウトボタンの右側の▲をクリックし、「新規ステップ作成」を選択します。新しいレイアウトが保存され、既存のレイアウトが上書きされます。シナリオパネルの右上にある設定ボタンから「新規ステップ作成」を選択することでも、現在のウィンドウの配置をレイアウトに保存できます。この場合、レイアウトは何も保存されていないレイアウトボタンに新規に保存されます。

- **新規シナリオ作成**

選択すると保存されているシナリオすべてが削除され、初期状態に復元されます。

- **シナリオの保存 / シナリオを開く**

現在登録されているシナリオを、.dxs ファイル形式でローカルに保存できます。保存したシナリオファイルは、「シナリオを開く」から本機にインポートできます。ファイルを読み込むと保存したレイアウトがシナリオパネルに復元されます。

- **シナリオのインポート / エクスポート**

本機に保存されているシナリオファイルを DXWebControl のシナリオパネルにインポートできます。リストから保存されているシナリオファイルを選択して「ロード」ボタンを押します。また、DXWebControl のシナリオパネルに登録されているレイアウトを、本機内に保存することが可能です。シナリオの名前を入力し、「保存」ボタンを押します。シナリオファイルは本機の "C:\ProgramData\DXWallInterface\data" のフォルダ内に保存されます。



- **プロパティ**

プロパティメニューからレイアウト名の変更が可能です。ボタンやテキストの色の変更、ループヘッダ(外部イベント)や時間のパラメータの追加を行うことができます。



- **シナリオの再生/停止**

シナリオ再生機能は指定した時間でレイアウトをシーケンシャル表示することができます。シナリオ再生には、再生時間を設定する必要があります。

「再生」ボタンを押すと、選択したシナリオを表示します。設定した時間が経過すると、次のレイアウトに切り換わります。デフォルトでは、次のレイアウトはリスト内の現在のレイアウトの次のレイアウトとなり、最後のレイアウトの後は最初から実行されます。

シナリオには内部ループ (Loop Header) を設定することができます。外部イベントにチェックを入れたレイアウトは、内部ループの最初のレイアウトとみなされます。次の外部イベントが定義されたレイアウトの直前にあるレイアウトまで再生し、その後は最初のループヘッダに戻ります。

再生時間を設定していない、または「停止」ボタンが押されている場合は、シナリオ再生が停止します。



DXN6000 シリーズ 取扱説明書

<クイックスタートガイド>

Ver.1.0.0

発行日：2021年9月21日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>